opusdei.org

年間第3週・木曜日 22. 内的生活を深める

年間第3週・木曜日 22. 内的生活を深める 一内的生活は成長するようにできている。頂いた恩恵への応答。 一小さなことにおける忠実と犠牲の精神。 一 痛悔と内的な成長。

2024/04/03

年間第3週・木曜日

22. 内的生活を深める

- 一内的生活は成長するようにできている。頂いた恩恵への応答。
- 一小さなことにおける忠実と犠牲の 精神。
- 一 痛悔と内的な成長。
- 22. 1 内的生活は成長していくものです。私たちは受ける恩恵のすべてに一致すべきです

「心に留めておきなさい」と言われ ます。そして、次の教訓をお与えに

なりました。「持っている人は更に 与えられ、持っていない人は持って いるものまで取り上げられる | ¹。 聖ヨハネ・クリゾストモは、こう解 説しています。「勤勉で熱心な人に は、神に属するすべてのものが与え られるでしょう。しかし、愛と熱意 に欠ける者、神に頼まない者には、 神に属するものが与えられないで しょう。主は言われます、彼らは 持っているものまでも取り上げられ る (ルカ8・18)。 神が取り上げ るのではなく、その人が新しい恩恵 を受け取ることができないからで す」²。

持っている者にはさらに与えられる でしょう、これはすべてのキリスト 者の内的生活のための基本的な教訓 です。恩恵に一致する人は、その 多くの恩恵が与えられます。そのこ 果、ますます多くの恩恵を持つこ 果になります。しかし、実を結ぶ の霊感、働きと助けを得られない者

神は、私たちが必要とする助けをする で手に入れる手段が常にある時間にある 東してくださっています。各時間きらことが にまないしのためにおが、からます。 をもしのためにおが、外のは をもいしのが がきらいがが、 が大きいがが、 で書は、私たちが、 をの恩恵を受けます。 な誘惑や妨げを経験することを神が

許されるなら、主は、それに打ち勝 つために、さらに大きな助けを与え てくださるでしょう。聖性に至るた めの努力を妨げるように思えたり、 それに到達するのは不可能だと思え たりするようなことが、霊的進歩と 使徒職の効果のもとになります。霊 的生命が病気になったり死んだりす る原因は、ただ、愛の不足と生温さ に他なりません。悪い意志や神に対 する寛大さの不足だけが、神との一 致を遅らせたり、妨げたりするので す。泉に持って行く信仰の器は、そ の容量に従って満たされます⁶。 イ エス・キリストは、助け、愛、理解 の無尽蔵の源泉です。どれほどの容 量、どのような望みをもってキリス トに近づくでしょうか? 主よ、祈り のうちにお願いします。もっともっ とあなたに渇かせてください。砂漠 で死にそうになっている人が水に渇 くよりも、もっと激しくあなたに渇 かせてください!

22. 2 小さなことにおける忠実と 犠牲の精神

内的生活がわずかしか向上しないこ とや、努力をしなくなり落胆を引き 起こす理由はいろいろあります。し かしながらこの理由は、わずかなこ とだけに集約することができます。 不注意、神への奉仕と神との友情に 関する小さなことへの怠慢、つま り、神が私たちにお望みになる犠牲 を退けることです⁷。 私たちが、 日々神に捧げなければならないこと はすべて、信仰と愛の小さな行いで す。祈願、ミサの間の感謝の祈り、 聖体訪問、私たちを待っておられる イエス・キリストご自身に会おうと 意識していることなどです。毎日の 習慣的な祈り、仕事上の自分の欠点 を克服すること、喜んで人に応対す ること、物事を丁寧に頼むこと、愛 をもって愛のために行われた多くの 小さなことは、日々の宝物となり、 私たちは、この宝と共に永遠の生命

に入るのです。内的生活は、普通 は、愛と思いやりがこもった小さな 行いで養われていきます。他のこと をすれば道を誤り、神に捧げること を全く見出さないか、ほんのわずか しか見出さないことになります。モ ンセニョール エスクリバーはこう指 摘します。「フランスの作家がイメ ージした人物の話を思い起こしてみ るとよい。家の廊下にライオンを捕 らえに出かける人は、当然何も見つ けない。私たちの生活は全く普通の ものであり、大きなことで神に奉仕 しようとすることは、廊下でライオ ンを捕らえようとするようなもので す。捧げるものは何もなく、結局は 何も得られないでしょう | 8。私た ちには平凡な毎日の事柄があるだけ です。

次々に増す水のしたたりが、渇いた 地上に命を与えるように、少しずつ 小さな行いをしなさい。聖母のご像 を見ること、友人を励ます言葉、聖 櫃の前でうやうやしくひざまずくこ と、祈りの間の注意散漫を防ぐこ と、怠慢に打ち勝つこと、すべては 霊的生命を生き生きとさせる良い習 慣と徳を創り出します。これらの小 さな行いに忠実であり、神を喜ばせ たいという望みを頻繁に新たにする なら、耐えることが難しい病気や仕 事上の失敗のような大きなことが神 に捧げるために起こる時も、神がお 望みになりおゆるしになることから 実りを収穫することができるでしょ う。その時、キリストの次の言葉が 成就されるでしょう。「ごく小さな 事に忠実な者は、大きなことにも忠 実である|⁹。

霊的生活で後退するもう一つの原因は、神が私たちにお望みになる犠牲を受け入れないことです10。このような犠牲は、私たちが利己主義に立ち向かう機会になります。それはいつも愛のしるしです。自分自身を求

める代わりに一日中神を探し求める 決心を示すのですから。

神への愛は、「霊的な苦労によっ て」¹¹、つまり、恩恵の助けによっ て、霊魂の深い所に生まれる努力と 関心があることで得られます。この 喜んで捧げる犠牲がなければ、人間 的な愛も神的な愛もありえません。 愛は、私たちの内で成長し、困難と 自分の内にある愛に対する抵抗のお 陰で大きくなっていきます。また、 「外からの抵抗」に直面しても成長 し大きくなっていきます。つまり、 愛とは異質のもの、敵対する外力が 多く働くにもかかわらず大きく成長 していきま τ^{12} 。 恩恵の助けは、決 して私たちを見捨てることはないと 神が約束してくださったように、そ れは、すべて恩恵と一致して、落胆 することなく、喜んで何度もやり直 す決心をすることにかかっていま す。私たちが、恩恵に忠実であれば あるほど、神はもっと多くの助けを

与えてくださるし、さらに容易くその道に従うことができることに気がつくでしょう。私たちは、もっと要求されていること、つまり、霊魂が更に大きく洗練されることに気がつくでしょう。愛は、常にもっと多くの愛を要求します。

この内的生命は、不運な状況に直面

22.3 悔い改めと内的成長

した時に成長する特別の機会を与え られます。霊魂にとって、自分の惨 めさと不注意と愛の不足の結果とし て作り出されたものほど大きな障害 はありません。しかし、こうした状 況では、聖霊が私たちを導いて、痛 悔の行為をもって超自然的に振舞う ようにしてくださいます。「神様、 罪人のわたしを憐れんでくださ い!| ¹³聖フランシスコ・サレジオ は、愛と悲しみと深い和解への望み に満ちた、このような射祷のような 静かな祈りによって、私たちは強め

られることを感じとるべきであると教えています。それを通して、私たちが神の憐れみ深い御心を信じるようになるためです $\frac{14}{}$ 。 悔い改めの行為は、霊的進歩の効果的な手段です。

ゆるしを願うことは、愛することで す。それは、ますます深まっていく 理解と憐れみの心をもってキリスト を黙想することです。私たちは罪人 なので¹⁵、私たちの人生は悲しみと 愛の行為で満ちています。そのお陰 で、霊魂は希望に満ち、聖性に向か う道を再び始めたいという望みを新 たにできます。神の愛にあまり良く 応えていない場合がたくさんあるか も知れないけれども、失望したり心 配しすぎたりせずに、何度もキリス トに戻る必要があります。神の憐れ みは限りなく、私たちが、新たな決 心を持って、新しい希望と共に、再 び出発するように勇気づけてくださ います。私たちは、放蕩息子のよう

にならなければなりません。恥ずか しさと惨めな生活に満ちて、遠い見 知らぬ土地に残る代わりに、正気に 戻ってこう言いました。「ここをた ち、父のところに行って言おう」「 っ。人の一生とは、ある意味で、一 度も御父のもとに戻ることだと言え ます。私たちはゆるしの秘跡の手段 によって父の家に戻ります。

神は、たとえ話のお父さんのように 両手を広げて私たちを待ってくださ います。私たちにはそんなにしてい ただく値打ちはないのですが、放蕩 息子のように、神が大喜びで迎え入 れてくださるのです。心を打ち明け て御父の家をなつかしく思慕するだ けでよいのです。恩知らずの私たち であるのに、本当にご自分の子にし てくださった神の賜物に驚き、喜び さえすればよいのです¹⁷。 神は、決 して私たちを見捨てるようなことは なさいません。いつも喜んで迎えて くださいます。私たちを慰め、もっ

と多くの愛と深い謙遜の心で再び出 発するようにしてくださるでしょ う。

弱さは、神の憐れみを探し求めるよ うに、また謙遜になるように助けて くれます。謙遜の徳の成長は、内的 生活を前進させるのに多くの段階を 経ることを意味します。すべての徳 は、私たちが、より深く謙遜である ことから益を得ます。時に、神から 受けている恩恵に一致していないと 気づいたり、神が期待されているほ ど忠実でないとわかることがあれ ば、悔い改めて、信頼して神に戻ら なければなりません。「神よ、わた しの内に清い心を創造し、新しく確 かな霊を授けてください」¹⁸。

小さいことでも私たちを神から引き離すものを度々考えてみるべきです。そうすれば、悲しみと痛悔へと心を動かされて、神にもっと近づくでしょう。このようにして内的生活

は、外的障害と戦うことによってだ けでなく、弱さや誤り、罪を認める ことによっても明らかに豊かになり ます。再び始めることが難しいと気 がつけば、息子の所に簡単に連れて 行ってくださる聖母マリアに頼みま しょう。多くの悔い改めの行為をす るように私たちを助けてくださいと マリアに願うべきです。あの徴税人 の祈りを繰り返すことは助けになる でしょう。「神様、罪人の私を憐れ んでください!| また、ダビデ王の 祈り「打ち砕かれ悔いる心を、神 よ、あなたは侮られません| 19。遠 くに教会の建物を見る時、憐れみの 源泉であるイエスがご聖体の中に人 としておられることを理解して、い くつかの射祷を唱えることは特に助 けとなります。

恵み、憐れみ、ゆるしの御母である 聖マリアは、聖人になりたいという 野心的な目的に達する希望をいつも 燃え立たせてくださるでしょう。恩 恵に一致すれば、さらに多くの恩恵 が与えられることを確信して、個人 的な祈りのこの時間の実りをマリア の手に置きましょう。

- 1マルコ4・24-25
- ² 聖ヨハネ・クリゾストモ, Homilies on St Matthew's Gospel, 45,1
- 3マタイ25・14-30 参照
- ⁴ St Augustine, Sermon 5 1, 3
- 5 詩編40・18
- $^{6}_{-}$ 聖アウグスチヌス,Commentary on St John's Gospel, 1.7
- ⁷ R.Garrigou-Lagrange, The Three Ages of the Interior Life 参照
- ⁸ 聖ホセマリア・エスクリバー 手紙 1939年3月24日

- 9 ルカ16・10 参照
- R.Garrigou-Lagrange, The ThreeAges of the Interior Life
- 11 聖ヨハネ・パウロ二世 説教 1980 年2月3日
- ¹² 聖ヨハネ・パウロ二世 説教 1980 年2月3日
- 13 ルカ18・13
- 14 聖フランシスコ・サレジオ, Treatise on the Love of God 2, 2 0 参照
- __ ーヨハネ1・8-9 参照
- 16 ルカ15・17-18
- ¹⁷ 聖ホセマリア・エスクリバー『知 識の香』 6 4
- ¹⁸ 詩編 51·12

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/TO-III-moku/ (2025/12/12)